

林産試ニュース

■ 「木と暮らしの情報館」が冬季休館に入りました

林産試験場併設の「木と暮らしの情報館」が、12月1日から冬季休館に入りました。

今年は4月1日の開館から約9,300人の方々にご入館いただきました。ありがとうございました。今後とも多くの皆様にお越しいただけるよう展示内容の充実に努めてまいります。



来シーズンは、4月2日(月)に開館の予定です。

■ アグリビジネス創出フェアに出展します

12月9日(金)～10日(土)、サッポロファクトリー(中央区北2東4丁目)において、『北海道の食と農の明日へ』をテーマに「2011アグリビジネス創出フェア in Hokkaido」が開催されます(主催: NPO グリーンテクノバンク、農林水産省)。

林産試験場は、育苗培土に適した改質木材の製造装置やキノコ関連製品等を出展する予定です。

また、千葉県の幕張メッセで開催されている全国規模の同フェア(11月30日(水)～12月2日(金)、農林水産省主催)においても、「環境を創るゾーン」に新開発のキノコ類等を出展中です。

■ ランチタイムセミナーで講師を務めました

道総研では、道庁1階交流広場において、昼休みの12時05分～12時55分、「道総研ランチタイムセミナーおひるの科学」を月1～2回のペースで開催しています(無料、事前申込み不要)。

11月29、30日には、『寒さを吹き飛ばせ! 暖かい

暮らしの科学』と題して、暖房機能に関するセミナーを、北方建築総合研究所、工業試験場、林産試験場の当番で開催しました。

会場からの話題は、木質ペレットとそれを燃やすストーブに関するもので、性能部居住環境グループの小林主査が講師を務めました。

■ 技術・ビジネス交流会に出展しました

11月10日(木)～11日(金)、アクセスサッポロにおいて「第25回ビジネス EXPO 北海道 技術・ビジネス交流会」が開催されました。

道総研ブースの中央には、工業試験場、林業試験場、林産試験場による『道路』をテーマとした研究成果コーナーが設けられ、北海道型ガードレールや木製防雪柵、改良路盤材、新法面緑化工法などを展示しました。会場はこのほかにも防火タモ材、改質木材製造装置、I形梁、カラマツ心去り平角材などを紹介しました。

期間中約18,000人の入場があり、広い会場は常時満員、道総研ブースの前も熱心に見聞きする人達で途切れることがありませんでした。



■ 道総研理事長表彰を受けました

11月18日、技術部生産技術グループの大橋研究主任が、有益な研究や発明発見をしたものに与えられる、北海道立総合研究機構理事長表彰を受けました。



評価された研究は『国産材を用いた木質I形梁の研究開発と実用化』です。

林産試だより

2011年12月号

編集人 林産試験場
HP・Web版林産試だより編集委員会
発行人 林産試験場
URL: <http://www.fpri.hro.or.jp/>

平成23年12月1日 発行
連絡先 企業支援部普及調整グループ
071-0198 旭川市西神楽1線10号
電話0166-75-4233 (代)
FAX 0166-75-3621